【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【公開番号】特開2013-210998(P2013-210998A)
【公開日】平成25年10月10日(2013.10.10)
【年通号数】公開・登録公報2013-056
【出願番号】特願2013-4170(P2013-4170)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　17/50　(2006.01)
Ｂ６４Ｄ　13/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｐ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/50　６１２Ｃ
Ｂ６４Ｄ　13/00
Ｇ０１Ｐ　13/00　Ｄ
Ｇ０６Ｆ　17/50　６８０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年12月28日(2015.12.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ダクトシステム（２１６）内の位置（２３０）に対する空気流（２１４）の速度（２１８）に関するデータ（２０２）を生成するように構成されたセンサシステム（２０４）と、
複数のセンサ（２５０）と前記ダクトシステム（２１６）内の横断面に対応する形状を有するフレーム（２５２）とを備える前記センサシステム（２０４）のセンサアレイ（２１０）であって、前記センサシステム（２０４）は異なる位置における空気流（２１４）の速度（２１８）の値を測定し、前記ダクトシステム（２１６）の前記横断面に渡る空気流（２１４）の速度（２１８）の様々な値を測定する、センサアレイ（２１０）と
前記センサシステム（２０４）から前記データ（２３２）を受信して、前記ダクトシステム（２１６）内の前記位置における前記空気流（２１４）の前記速度（２１８）のプロファイル（２３６）を生成するように構成された空気流マッパ（２０６）と
を備え、
前記プロファイル（２３６）が、１つのデータセットがある時点に関するダクトシステム（２１６）の前記横断面に渡って見いだされた空気流（２１４）の１つまたは複数の速度（２１８）を表す任意の数のデータセットを備え、
前記空気流マッパ（２０６）が前記ダクトシステム（２１６）の前記横断面の欠けている部分に関するデータを補間するように構成される速度マッピングシステム（２０２）。
【請求項２】
前記プロファイル（２３６）が、任意の数のデータセット（２４４）内のあるデータセットがある時点に関して前記ダクトシステム（２１６）の横断面（２３４）に渡って見出された空気流の１つまたは複数の速度を表す、前記任意の数のデータセット（２４４）を含み、前記空気流マッパ（２０６）が、前記空気流（２１４）の前記速度（２１８）に関する前記データ（２３２）が変化するにつれて、前記プロファイル（２３６）を更新する

ように構成され、前記プロファイル（２３６）のそれぞれの更新が前記プロファイル（２３６）内の前記任意の数のデータセット（２４４）内に新しいデータセットを形成する、請求項１に記載の速度マッピングシステム（２０２）。

【請求項３】

ディスプレイシステム（２０８）をさらに備え、前記空気流マッパ（２０６）が、前記ディスプレイシステム（２０８）上に前記プロファイル（２３６）を表示するように構成され、前記データ（２３２）が、前記位置（２３０）における前記ダクトシステム（２１６）の横断面（２３４）の部分（２３８）に関し、前記空気流マッパ（２０６）が、前記ダクトシステム（２１６）の前記横断面（２３４）の欠けている部分（２４０）に関する前記データ（２３２）を補間するように構成された、

請求項１または２に記載の速度マッピングシステム（２０２）。

【請求項４】

前記ダクトシステム（２１６）の流入端に接続され、前記ダクトシステム（２１６）内に前記空気流（２１４）を生成するように構成された空気源（２２６）をさらに含み、前記空気源（２２６）によって生成された前記空気流（２１４）が既知の流量を有し、前記プロファイル（２３６）が、データ点（３１０）内のあるデータ点が最大気流速度の割合である前記データ点（３１０）を含み、

前記センサシステム（２０４）が、前記空気流（２１４）の前記速度（２１８）を測定して、前記空気流（２１４）の前記速度（２１８）を測定することから前記データ（２３２）を生成するように構成されたセンサアレイ（２１０）を備えた

請求項１ないし３のいずれか一項に記載の速度マッピングシステム（２０２）。

【請求項５】

前記空気流マッパが、

プロセッサユニット（８０４）と、

記憶デバイスと、

前記記憶デバイス上に記憶されたプログラムコード（２１８）とを含み、前記プロセッサユニット（８０４）が、前記センサシステム（２０４）から前記データ（２３２）を受信して、前記ダクトシステム（２１６）内の前記位置（２３０）における前記空気流（２１４）の前記速度（２１８）の前記プロファイル（２３６）を生成するために前記プログラムコード（２１８）を実行するように構成され、前記ダクトシステム（２１６）が、移動式プラットフォーム、固定式プラットフォーム、陸上構造物、水上構造物、宇宙構造物、航空機、水上艦、戦車、人員運搬車、列車、宇宙船、宇宙ステーション、衛星、潜水艦、自動車、発電所、橋、ダム、製造施設、および建物のうちの１つから選択されたプラットフォームに関する、請求項１ないし４のいずれかに記載の速度マッピングシステム（２０２）。

【請求項６】

ダクトシステム（２１６）内の空気流（２１４）を解析するための方法であって、

複数のセンサ（２５０）と前記ダクトシステム（２１６）内の横断面に対応する形状を有するフレーム（２５２）とを備える前記センサシステム（２０４）のセンサアレイ（２１０）を介して、空気流（２１４）の速度（２１８）の値を測定することであって、前記センサシステム（２０４）は異なる位置における空気流（２１４）の速度（２１８）を測定し、前記ダクトシステム（２１６）の前記横断面に渡る空気流（２１４）の速度（２１８）の様々な値を測定する、測定することと、

前記ダクトシステム（２１６）内の位置（２３０）に対する前記空気流（２１４）の速度（２１８）に関するデータ（２３２）を、前記センサシステム（２０４）を使用して生成することと、

前記位置（２３０）における前記空気流（２１４）の前記速度（２１８）のプロファイル（２３６）を生成することとを含み、

前記プロファイル（２３６）が、１つのデータセットがある時点に関するダクトシステム（２１６）の前記横断面に渡って見いだされた空気流（２１４）の１つまたは複数の速

度（２１８）を表す任意の数のデータセットを備え、
空気流マッパ（２０６）が前記ダクトシステム（２１６）の前記横断面の欠けている部分に関するデータを補間するように構成される方法。
【請求項７】
前記プロファイル（２３６）が、任意の数のデータセット（２４４）内のあるデータセットがある時点に関して前記ダクトシステム（２１６）の横断面（２３４）に渡って見出された空気流の１つまたは複数の速度を表す、前記任意の数のデータセット（２４４）を含む、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記空気流（２１４）の前記速度（２１８）に関する前記データ（２３２）が変化するにつれて、前記プロファイル（２３６）を更新することをさらに含み、前記プロファイル（２３６）に対する更新が、前記プロファイル（２３６）内の前記任意の数のデータセット（２４４）内に新しいデータセットを形成する、
請求項６または７に記載の方法。
【請求項９】
前記データ（２３２）が前記位置（２３０）における前記ダクトシステム（２１６）の横断面（２３４）の部分（２３８）に関し、
前記ダクトシステム（２１６）の前記横断面（２３４）の前記部分（２３８）の欠けている部分（２４０）に関する前記データ（２３２）を補間することをさらに含む、請求項６ないし８のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１０】
ディスプレイシステム（２０８）上に前記プロファイル（２３６）を表示することであって、前記プロファイル（２３６）が、データ点（３１０）内のあるデータ点が最大気流速度の割合である前記データ点（３１０）を含む、表示することと、
前記プロファイル（２３６）を複数のダクトシステムに関するプロファイルのライブラリ内に記憶することと
をさらに含む、請求項６ないし９のいずれか一項に記載の方法。